

やまと 民俗への招待

今西家書院 (上)

▼山田重正による研究

奈良町の一角、福智院町は中世の福智院郷に始まる。鎌倉時代、この地に地蔵靈場として有名な福智院（いまは真言律宗）が創建され、それが郷の名になつたと考えられる。

今西家書院（重要文化財）の一画は、大正十三（一九二四年）、隣の今西家（春鹿「醸造元」）が買い取るまで、興福寺の大乘院跡（明治維新で廃絶）に仕えた福智院家という旧家だった。母が維新時の当主・福智院庸徳の二女だった元花園大学教授の医師・山田重正（一九八五年、八十一歳で没）は、同家の歴史を研究し、隨筆「古都残影」や、歴代の当主と同族をめぐる考証「古都陽炎」などを著した。（これらは私家版なので、県立図書情報館や奈良市立図書館にもないのは

残念だ

▼母の実家は福智院家「古都残影」（一九六四年刊）に収められた「奈良の庭籠（かまど）」を紹介する。

井原西鶴の浮世草子「世

間胸算用（一六九一年刊）の「奈良の庭籠」に、さてまた都の外の宿の者といふ男ども、大乘院御門跡の家来因幡（いなば）といへる人の許（もと）にて例にまかせて祝ひはじめたとを考えられる。

今西家書院（重要文化財）の一画は、大正十三（一九二四年）、隣の今西家（春鹿「醸造元」）が買い取るまで、興福寺の大乘院跡（明治維新で廃絶）に仕えた福智院家という旧家だった。

母が維新時の当主・福智院庸徳の二女だった元花園大学教授の医師・山田重正（一九八五年、八十一歳で没）は、同家の歴史を研究し、隨筆「古都残影」や、歴代の当主と同族をめぐる考証「古都陽炎」などを著した。（これらは私家版なので、県立図書情報館や奈良市立図書館にもないのは

福智院家は興福寺の三綱（さんごう）＝上から順に上座、寺主（じしゅ）、都

大乗院の御殿移築？

この辻子は、江戸時代の奈良町の最古の地誌「奈良

と呼んでいるという。山田は

いう記述があった。山田はこれを読んで大乗院の家来院家のことだと気づいた。同家は代々、因幡ないし因幡守を名乗ったからだ。

平安時代に始まる古い家で、大乗院門跡の坊官を世襲した。坊官とは京都や奈良の門跡家の家政を取り仕立て『嘉例の通り祝をはじめ』たものと思われる」と述べ、福智院家の昔をしのんでいる。

山田は今西家（福智院家）書院について、「母の記憶によると、この家の内玄関に入ると大きな釜と鍋の籠が据えられて、ここで正月の餅をついたものである。（中略）例の胸算用の籠の中は多分この土間に現れて『嘉例の通り祝をはじめ』たものと思われる」と述べ、福智院家の昔をしのんでいる。

山田は今西家（福智院家）書院について、「母の記憶によると、この家の内玄関に入ると大きな釜と鍋の籠が据えられて、ここで正月の餅をついたものである。（中略）例の胸算用の籠の中は多分この土間に現れて『嘉例の通り祝をはじめ』たものと思われる」と述べ、福智院家の昔をしのんでいる。

山田は今西家（福智院家）書院について、「母の記憶によると、この家の内玄関に入ると大きな釜と鍋の籠が据えられて、ここで正月の餅をついたものである。（中略）例の胸算用の籠の中は多分この土間に現れて『嘉例の通り祝をはじめ』たものと思われる」と述べ、福智院家の昔をしのんでいる。

山田は今西家（福智院家）書院について、「母の記憶によると、この家の内玄関に入ると大きな釜と鍋の籠が据えられて、ここで正月の餅をついたものである。（中略）例の胸算用の籠の中は多分この土間に現れて『嘉例の通り祝をはじめ』たものと思われる」と述べ、福智院家の昔をしのんでいる。

山田は今西家（福智院家）書院について、「母の記憶によると、この家の内玄関に入ると大きな釜と鍋の籠が据えられて、ここで正月の餅をついたものである。（中略）例の胸算用の籠の中は多分この土間に現れて『嘉例の通り祝をはじめ』たものと思われる」と述べ、福智院家の昔をしのんでいる。

山田は今西家（福智院家）書院について、「母の記憶によると、この家の内玄関に入ると大きな釜と鍋の籠が据えられて、ここで正月の餅をついたものである。（中略）例の胸算用の籠の中は多分この土間に現れて『嘉例の通り祝をはじめ』たものと思われる」と述べ、福智院家の昔をしのんでいる。

山田は今西家（福智院家）書院について、「母の記憶によると、この家の内玄関に入ると大きな釜と鍋の籠が据えられて、ここで正月の餅をついたものである。（中略）例の胸算用の籠の中は多分この土間に現れて『嘉例の通り祝をはじめ』たものと思われる」と述べ、福智院家の昔をしのんでいる。



福智院家（今西家）書院の縁に集つ福智院家の人々
（明治34年頃。「古都残影」より）

福智院家（今西家）書院の縁に集つ福智院家の人々
（明治34年頃。「古都残影」より）

福智院家（今西家）書院の縁に集つ福智院家の人々
（明治34年頃。「古都残影」より）

福智院家（今西家）書院の縁に集つ福智院家の人々
（明治34年頃。「古都残影」より）

福智院家（今西家）書院の縁に集つ福智院家の人々
（明治34年頃。「古都残影」より）

福智院家（今西家）書院の縁に集つ福智院家の人々
（明治34年頃。「古都残影」より）